

～質問一覧～

- ⇒ 市は学力向上を目指しているのに宿題を無くしたら、学力が低下するのではないかな？
- ⇒ ドリルの教材費など多久市で負担してくれるのか？
- ⇒ 授業時間が増えたり、休み時間、夏休みが減ったりしないかな？
- ⇒ 宿題に代わる取り決めは？

★週3日の放課後「学びの場」の提供について

- ⇒ 週3日の学びの場の決め方は？
- ⇒ 習い事がある人は参加できないのではないかな？
- ⇒ 下校時間が遅くなる児童のため、スクールバスなど利用できないかな？

★保護者の責任について

- ⇒ 親が忙しいところは大変ではないかな？
- ⇒ 家庭の中で課題を出す保護者に対しての制限は？
- ⇒ 今の学習を親が分からないのではないかな？

子ども議会を通して (子ども議員の皆さんにアンケートをとりました)

【子ども議会の感想】

- ・すごく緊張したけど、自分の意見をはきはき言えて良かった。
- ・質問したときに回答された人が何を言っているのかわからなかった。でも楽しかった。
- ・皆さん具体的に発言していて、すごいなあと思いました。
- ・とても緊張しました。だけどとても貴重な体験でした。

【もし議員になったら何をしたいか】

- ・少数派の人たちの意見が尊重されるような社会にしたい。
- ・多久をもっと明るくしたい。
- ・学校や施設をもっと良くしたい。
- ・緊張せず、みんなに納得してもらえるような人になる。
- ・今はわからないけど、少しくらい良いほうに傾けたい。
- ・多久の道をきれいにする。
- ・議長席に座ってみたい。

～保護者からの感想～

- ・とてもいい経験になったと思います
- ・はっきり発言出来て頼もしく感じました

／想いよ！届け！子ども議会！／

多久市内の義務教育学校6年生が議員役を務め「子ども議会」を1月26日に多久市議会議事堂で開催しました。架空の条例案を巡って7人の子ども議員全員が、自分の意見を主張し、真剣な討論が行われました。

議案甲第1号

多久市内義務教育学校に通う児童生徒に対し宿題を課すことを禁止する条例

提案理由

本来「学び」とは、自身で学力の向上を目指すものであり、他人が強制するものではない。本条例は、市内義務教育学校に通う児童生徒に対して宿題を課すことを禁止し、学びは自己責任であることを自覚させ、児童生徒の自立心を育むことにより、学力向上を目指すことを目的とする。

賛成討論

宿題を無くすことで友達と遊ぶ時間ができ、健康になり友達と仲良くなれるから

反対討論

- ・自分で進んで学習しない
- ・子どもの責任にするには厳しい
- ・自分で勉強するのが苦手な人がある
- ・宿題を選択制にしては？
- ・先生、親に負担をかける
- ・学力が低下したら親に塾に連れていかれる

採決

今回提案された議案は採決により、
賛成1 / 反対6 で **否決** されました

【議員からの感想】

今回のテーマ、「宿題を課すことを禁止する条例」という子どもにとっては嬉しいであろう議案に対し、否決という結果に正直驚きました。自己学習が上手くできないという不安感を口にした子ども議員が多かったことは、宿題を無くすことによる学力の低下に対する危機感のあらわれではないかと思っています。